

# こもれび



2023(令和5)年4月 No.159

## いのちを感じる時

春に花咲くタンポポが雑草の中でもその名が通っているのは、かわい  
い名称と、見た目の愛らしさのせい  
かと思います。

『身近な雑草の愉快な生きかた』  
(稲垣栄洋著)には、いのちの躍動に  
あふれ、逆境に生きる彼らの知恵と  
工夫が紹介されていて、タンポポや  
オオバコをはじめ、五十種の彼らの  
静かながらも仁義なき戦いが次のよ  
うに載っています。

明治以降に外国からやってきた外  
来タンポポは、他の植物との生存競  
争には決して強くないですが、まだ  
ライバルのいない市街の空き地に生  
存場所を増やしていきました。

外来種は日本にもともとある在来  
種よりも種子の数が多く、クローン  
種子で在来種と交雑しながら雑種化  
し、純潔の在来タンポポを減少させ  
ています。素朴なタンポポは、見えな  
いところで息をもつかせぬ戦いを展  
開しているのです。

また、踏まれても踏まれてもたく  
ましく生きる雑草のオオバコは「大  
葉子」と書き、上の画像のように大き  
な葉が特徴的です。そして、柔軟かつ  
頑固、茎が短く葉は地面に伏してい  
て、踏まれ強い。そのような逆境に

耐えているオオバコですが、踏まれ  
続けなければ生存することができな  
い宿命にあります。その理由は、踏み  
つけられることによって生存できな  
かった他の様々な植物がその場に侵  
入してしまい、他の植物との生存競  
争に弱いオオバコは生きていけなく  
なるからです。

他の植物との争いを避け、苦境に  
身を置いて自らを鍛え上げていく。  
そのような苦難の道を選んだオオバ  
コは、靴や動物の足、自動車のタイヤ  
について広がっていき、再び踏まれ  
やすい場所に芽生え、自らの領域を  
広げていっています。

ハムシの幼虫がヤナギの葉を食べ  
た時、ヤナギが「ある物質」を放出して  
テントウムシを呼び寄せている研究  
結果を見ました。また植物間のコミュ  
ニケーションも報告されています。

いつか彼ら雑草の会話を理解でき  
るようになった時、私たちはいのち  
あるものに囲まれ生きていくことを  
感じ取ります。そうならば、彼らは庭  
の雑草を容赦なく処分する私に、ど  
のようなことを言うのだろうか…。何  
も耳に入らない現状を有り難くも、  
また申し訳なくも思うばかりです。

株式会社溝口祭典 溝口勝巳



やましたりきと/山下 力人 株式会社やましたグリーン 代表取締役

1977年東京都八王子市鹿島にて生まれる。庭師として12年の修行の後、やましたグリーンを設立。心理カウンセラーの資格を持つ庭師歴27年の「心の庭師」。2012年に伐採予定の植木を生かしてあげたいと自社の敷地に植栽したことをきっかけに「植木の里親」活動を開始。SDGs事業に取り組む先進企業として様々な賞を受賞。現在は、環境創造会社として「植木の里親活動」「もらえる植物園」「サスティナブルガーデン」の環境循環型の3つの事業を柱に、より良い環境社会の実現に取り組んでいる。

【受賞歴】 2019年 第17回多摩ブルーグリーン賞「多摩みらい賞」を受賞  
2021年 第9回グッドライフアワード審査委員特別賞「森里川海賞」受賞  
2022年 GOOD DESIGN 賞 BEST100 に選定される

## 植木の里親 やましたグリーン

# 半纏に猫

第3回

## 走馬灯

前回までは私の子供時代、庭師に憧れた経緯をお伝えしてきました。今回は庭師になってからのお話をさせていたただきたいと思います。

初めて庭師の仕事に携わったのは十五才の頃、高校一年生の時でした。知人の実家が造園業を営んでいることを知り、頼み込んで夏休みにアルバイトをさせてもらうことにしました。当時の主な仕事は職人さんが剪定した枝の片付けと庭の掃き掃除。庭園管理作業の基本は掃き清めることと教わり、「葉っぱ一枚残すな!」という司令のもと、徹底的に庭の清掃を行いました。仕事が終わる綺麗に剪定された植木たちが並ぶ庭は、夕日に照らされた枝ぶりがとても美しく、今でもその光景を思い出します。

お客様は皆いい人ばかりで、十時と三時の休憩時間にはお茶をいただきますながら、色々な話を聴かせていただきました。植木や庭の話から、ご自身の生い立ち、幼かった頃の思い出など、年長者の様々な話は貴重な人生の学びとなり、今でも私の財産です。

時は経ち、十二年間の修行を続けた私は三十歳の時に個人事業の「やましたグリーン」として起業しました。起業当時、庭は解体され駐車場などにされるのが多く、「庭じまい」という言葉が流行するほどでした。私も積極的に庭の解体仕事、つまり植木の伐採処分を請け負っていました。

しかし体の無理は長くは続かないもの、休日返上で仕事をしていたある祝日に、私は伐採作業中に大木の下敷きになり頸椎を骨折してしまいました。第四頸椎の破裂骨折という大怪我で破裂した頸椎は復元不可能で、おしりの骨を移植する大手術をしました。寝たきりの入院中は事故の衝撃や手術の影響からか、意識が朦朧としていて走馬灯のように頭の中に浮かんでくるのは、これまでにこの「こもれば」に書いたことばかりでした。

・ものを作ることができる「職人」に強い憧れを抱いた子供時代

高校三年間アルバイトを続けた私は卒業して造園会社に就職しました。手入れが終わった美しい庭の光景、お客様からいただけるたくさんのお喜び、そんな喜びの中で仕事ができることにワクワクしていました。



当時の「庭師見習い」は、仕事を覚えたくても親方や先輩職人たちには仕事を教えてもらえないという、昔ながらの職人の世界でした。仕事ができるようになるまでは仕事をさせない、しかも仕事は教えないという、かなり矛盾した慣習があり、それをどうやって乗り越えて仕事を覚えるか、その答えを見つけるのが早く一人前になるために必要なことだと当時の私は考えました。

そこで私が考えたのが、休憩時間に先輩が剪定した植木に登って切り方を観察するということです。毎日休憩時間に剪定された木に登り、剪定した箇所を観察して頭の中で剪定のシミュレーションをしていました。

毎日シミュレーションを続けていたある日、チャンスが訪れました。現場に行くはずの先輩が体調を崩して会社を休んだのです。作業日を延期するわけにもいかず、見習いの中から代理を選ぶ事となり、なんと、私が選ばれたのです!今思えば毎日休憩時間を削って努力していたことを評価してくれたのだと思います。

ドキドキしながら迎えた初めての本番剪定作業、毎日していたシミュレーションのお陰で、なんとか剪定も合格点をいただき、お客様も喜んでくれました。この時は心の底から人の喜びに貢献できる仕事に誇りを感じました。



- ・半纏姿の庭師の背中に強烈に憧れたこと
- ・天ぶらそばを注文できる社長になろうと思ったこと
- ・初めて見た手入れが終わった美しい庭の光景
- ・休憩時間に頂いたお茶の味と貴重な学び
- ・休憩時間を削って剪定方法をシミュレーションしたこと
- ・初めて任された仕事で人の喜びに貢献できる仕事に誇りを感じたこと

徐々にはっきりとしていく意識の中で、私は十二年間の長い修業の中で忘れてしまっていた大切なことに気づきました。初心を忘れて自分が憧れていた庭師の姿からはかけ離れた今の自分を俯瞰して見るのができたのです。

今思えば、憧れていた「カッコいい庭師」の姿から、どんだけ離れていく自分を、心の奥底にいる幼い自分が見えさせて止めてくれたのではないかと。そんな風に感じます。

賢明な治療のお陰で奇跡的に大きな後遺症も無く、またハサミが握れると言われた時、初心に戻り再出発することを決意しました。そして退院後「人の喜びに貢献できる仕事をする」「庭師を子どもたちが憧れる職業No.1にする」この2つを理念に掲げ、株式会社やましたグリーンを立ち上げました。

これが、私が本当の意味で子供の頃の夢を叶えた瞬間です。

ここまでお付き合いいただき、心から感謝いたします。

次回は喜びを造る新しい事業「植木の里親」についてお話しさせていただきます。



【略 歴】 1946年 旧満州新京にて生まれる  
 1997年 息子の発病により発起人となり仲間と共に草むらの会を立ち上げる  
 2008年 認定 NPO 法人多摩草むらの会代表理事就任  
 2018年 社会福祉法人草むら理事長就任

【資 格】 認定臨床心理カウンセラー

【受賞歴】 2012年 3月 「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞 審査委員会特別賞  
 2013年 12月 ヤマト福祉財団「小倉昌男賞」  
 2016年 12月 多摩ブルー・グリーン賞「経営部門優秀賞」2度目の受賞

そして二〇二三年五月オープン予定の「グループホーム ハビネスいち花」。これからも、メンバーさん

後、「社会福祉法人草むら」の開設となり、ここでは今まで出来なかったソーシャルインクルージョン、ダイバーシティを目指して多様な支援をしています。特に高齢者の方々に「孤食を無くそう」をテーマにした朝食会、若年性認知症の方々への働く場の提供、発達障害児向けのワークショップ等は、まさに目指していたことであります。

お陰様で法人を立ち上げて二十五年、現在約五百名のメンバーさん達が利用されていますが、残念ながら、二十五年間で二十九名の方々が亡くなり、一方で、結婚なさった方々も十二組います。その他、資格を取って

達が逞しく生きていけるよう、スタッフともども「誰か」を思い合い、誰もが自分らしく緩やかに活躍出来る環境を目指して、多様な価値観を受け止められるようなしなやかな感性を養いつつ、力強く進んでいく所存です。

就労していかれた方々、一人暮らしが出来てご家族から自立できた方々など様々ですが、共通していることはほとんどの方々が、その後の生活を維持して定着するための支援を必要にしていることだと思います。困った時、悲しい時、苦しい時に連絡を取り合える仲間や支援者が必要だということ。まさに一期一会だと思えます。どうぞ今後とも、彼等への温かなご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。最後までわたくしの拙い文章にお付き合いくださいましたこと、心より感謝申し上げます。



クリエイティブ音楽ムーブメント療法



地域の高齢者向け朝食会



地域住民向け笑いヨガイベント

# 夢を追い続けて

## “精神障がい者と共に”!

最終回 風間 美代子

皆様お変わりなくお過ごしでしたでしょうか。待ち望んでいた山笑う季節がやってきました。冬の寒さじつと耐え、いろんな場所で芽吹きが始まり、枯れ木ばかりの冬に比べ輝く陽光の元、全てが明るく美しく生き生きと、まるで山が笑っているかのように思えます。今回でいよいよ最終回になりますが、今回は、事業所のこと、将来への夢を最後に書かせていただこうと思います。

二〇一二年に正式に事業所としてオープンした「夢畑」は、一九九七年に地元の四軒の農家の方々から、荒れた休眠畑を整地することを条件に貸していただいた農地で、現在、椎茸を中心に一五〇種以上の野菜を減農薬、有機栽培を中心に栽培しています。パラリンピック開催の時は選手の方々への食材として提供させていただきました。暑い夏は、熱中症対策に冷たいタオルを首に巻いたり、氷や冷たい麦茶を飲みながら、厳寒の冬はホカロンを身体に巻き付け焚き火にあたりながら、一日約三十名のメンバーさん達が怯まず農作業をしています。それは自分が来て水をやりたり、虫を取ったり、日々の作業をまめにしなければ、野菜達

が大きく育つことができないと知っているからです。まさに誰かのために何かの為に、役に立つ自分に気づき、その成果が見えてきた時、自身を見つめ直し、生きる目的が見えてくるようです。

その後、農業法人「株式会社グリーンガラ」を立ち上げました。コロナ前は一年に一度、地域の方々への感謝祭を催し、約八百人の方々がいらしてくださり、ピーナッツ堀りや野菜取り輪投げなどのゲームや、合唱部の歌を聞いていただいたり、豚汁、椎茸ピザなどを食べて大いに楽しんでいただきました。帰り際、とても楽しかったので、是非毎年開催してほしいとの感想を話してくださったり、引きこもっている息子を抱えて悩んでいる友人に、草むらのことを教えて元気になってもらおうきつかけ作りをしたい等、皆様に障害や法人のことを知っていただく大きなチャンスだったと思います。

そして、饅頭屋を設立。北海道産の減農薬小豆を使った酒まんじゅうを中心に、現在、「道の駅八王子滝山」でプリン、椎茸、各種ジャムなどとともに販売させていただいてお

り、パッションフルーツを使った夢まんじゅうは、八王子市のふるさと納税返礼品になっています。六次産業化を目指して、メンバーさん達と話し合いながら、どんな形の悪い野菜も捨てることなく、佃煮やお饅頭に加工したり、レストランやお弁当のおかずとして使い、みんなが一生懸命育てたものを無駄にしないで生かす方法を探りつつ、本当に美味しいもの、売れるものを日々模索し続けています。

その他、地域の農家との連携で、イチゴ、ブルーベリー、パッションフルーツ等の加工品を使い、無添加で自然の味を生かしたもののづくりを目標に、日々クオリティの高い商品づくりを目指して頑張っています。

二〇一三年、念願の多摩センターの中心地にある商業ビル「ココリア多摩センター」五階に「布や夢うさぎ」を、六階にレストラン「畑できっちゃん」を、地下フードコートに「どリーむふあーむ夢畑カレーショップ」をオープンさせることができました。その間にも、相談支援センター「待夢」の開設、二〇一六年には清掃中心の事業所「草夢」、その

チェリング花立香炉 2点 ¥13,200 → 10%引き ¥11,880



チェリン・おりんシルバー  
¥11,000 → 10%引き ¥9,900  
ゴールド(同価格)もございます。

火立・線香立を使用しないときには、  
花立と重ねて下図のように展開でき  
ます。

チェリン by 瀬尾製作所

現代の住宅環境で、日々の暮らしにそっと溶け込  
み、故人と身近に寄り添うことを可能にする仏具

先日ご逝去された音楽家の坂本龍一さん  
は、自分の好きな音を手元に置き、いつでも  
聴けるようにするために、小さな陶器の笛  
と、一つ一つ異なる音階を持つおりんを小  
さな木箱に入れ、入院中の病室に置いてい  
ました。それが、右の「おともりん」です。  
ちなみに、音階はレのシャープです。

### 音階のお話

おりんの音にも様々な音階があります。  
中でも「ラ」の音はオーケストラのチューニングでオーボエが吹く音としてよく知られています。  
古代ギリシャで使われていた弦楽器の一番低い音を「A」と名付け、その音が「ラ」だったと  
いうことです。  
赤ちゃんの産声も世界共通で「ラ」の音階だそうです。赤ちゃんに音痴はいないんですね。

ラの音



じょうえ  
浄慧りん・おはぐろ 2.5 寸  
¥8,800 → 10%引き ¥7,920  
(布団は含まれません)

ミの音



鳳鳴りん 2.5 寸  
¥6,050 → 10%引き ¥5,445  
(布団は含まれません)

ドの音



乗光りん・行雲 2.5 寸  
¥17,600 → 10%引き ¥15,840  
(布団は含まれません)

## 百具一心堂のおりんたち

連れて歩けるおりんです！  
お墓参りのお供に。



¥5,500 円 → 10%引き ¥4,950 おりんの音色が聴けます♪



おともりん by 久乗おりん

りん布団にもなるおりんのケースは富山市の伝統工芸  
八尾和紙製で、富山伝統工芸鋳物のおりんとのコラボ商品

## おりんと共鳴する

多忙で困難の多い今だからこそ、少し立ち止まって、  
おりんの音に耳を傾け、心穏やかに過ごす時間を作ってみませんか。



\*印刷の都合上、実際の色と多少異なる場合があります。 \*三休さんポイントは対象外です。

たまゆらりん by 小泉製作所

コンパクトでよい音が鳴り 長く響くのが特徴  
2004年の発売以来人気商品 / 2005年グッドデザイン賞受賞  
クリアー ¥9,900 → 10%引き ¥8,910、色付・セビア・ワイン・ネイビー  
・ピンク ¥11,880 → 10%引き ¥10,692 (全て台とリン棒は含まれません)

おりんの役割・・・澄んだ音が邪気を払い、空間を清浄にするとされています。

おりんの鳴らし方・・・おりん上部のフチを弾むように叩くと GOOD♪

音の違い・・・1.8~2.3 寸…透明感ある高音、2.5 寸以上…落ち着いた音のある低音。

作法・・・お線香を立てる→おりんを鳴らす→手を合わせ合掌。  
(宗派ごとにお参りの仕方が異なることがあります。)

### 音十徳

諸力抱護  
みえない力で護られます  
穩氣安定  
穏やかな気持ちになつて  
落ちつけます  
惺心感謝  
ありがたい！感謝の心が  
生まれます  
優悟逢源  
とても優しい自分になれます  
知幸温癒  
あたたかく癒されて幸せを  
感じます  
思遣振鈴  
おもいやりの心が  
響きあいます  
美人心煙  
心美人になって  
いのち煌めきます  
笑咲満願  
笑顔の花が咲きはこります  
清浄歡喜  
心身が清浄になり喜びで  
満ちあふれます  
普聴希輝  
ただ聴くだけで輝く未来へと  
いざないます

## 百具一心堂

Tel. 042-642-0922 10時~17時半 水曜日定休  
ごすもす齋場となり・八王子市元横山町 2-14-18  
\*三休さんポイントは対象外です。  
特別価格は令和5年5月31日まで行っております。

## イベント・セミナーのご案内

### 人形供養会

大切にしていたお人形。皆様もお人形も、安心ができるように、私たち溝口祭典が橋渡しをいたします。



日時 5月13日(土) 午前11時～

場所 詳細は別紙案内をご参照ください。

### お盆セミナー

第1回 6月11日(日) 午前10時～11時

第2回 同日 午後1時～2時

場所 こすもす家族会館(八王子市本町6-12)

定員・参加費 10名/無料

講師 伊藤久哉(式典部次長・一級葬祭ディレクター)

「お盆」のそのものの意味合いや、飾り付け方、さらに棚経等、お盆に関連する事柄についてご案内いたします。また、実際にお仏壇での飾り付けや精霊棚もご覧いただけます。



※会場の都合で、今年は一日のみのご案内となっています。他の日をご希望の方は遠慮なくご連絡ください。別の形でご説明いたします。

**イベント・セミナーはお電話で、事前にお申込みください**

**TEL.042-642-0921 株式会社溝口祭典**

この度弊社は、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が調査・分析を行った「全葬連葬祭サービス安心度調査2023」において、最高評価のトリプルAが認定されました。

これからも故人とご遺族ご親族ご参列者にとりまして、意義あるすばらしいご葬儀が行われますように努力を重ねてまいります。これからもよろしくお願ひ申し上げます。



こもれび4月号(次回は7月15日発行) 2023年4月15日発行 第159号 <<4000部発行>>  
発行/株式会社溝口祭典 発行人/溝口勝巳 〒192-0063 八王子市元横山町2-14-19 TEL.042-642-0921